

令和4年度白河市立白河第五小学校
学校経営・運営ビジョン

～将来、変化の激しい社会を生きていく力の基盤となる力を育む～

教育基本法・学校教育法・学習指導要領

- 第6次福島県総合教育計画
「ふくしまの和で奏でるこころ豊かなくましい人づくり」
- 県南教育事務所の施策等
「夢と希望をはぐくむ県南の教育」
- 白河市育委員会の施策
「白河市教育大綱」

児童の実態

- 素直で元気で明るく、挨拶が上手にできる。
- まじめで、協力して活動できる。
- 学年に関係なく仲がよい。
- 受け身になりがち。
- 自分に自信が持てない。

教育目標

- すすんで考え ともに学び合う子ども（知）
- 思いやりを持ち 協力し合う子ども（徳）
- 健康・安全に気を付ける 元気な子ども（体）
- ※ 生きる力を育み、将来に向けて自立できる児童を育成する。

基本方針

- 将来の児童の姿を想起し、「生きる力」を育むための教育を展開する。
- 児童の成長する姿に気づき、認め、賞賛することで児童の学習意欲を高める。
- 全教職員で児童一人ひとりを育てるという考えを持ち、共通理解のもとに教育活動にあたる。
- 「チーム五小」として、教職員がそれぞれの専門性を生かして能力を発揮し、子どもたちの資質・能力を高める。
- 家庭や地域との連携を図り、特色ある教育活動の推進に努める。

めざす学校像

- 基礎・基本の定着と確かな学力を身に付ける学校
- 褒め、称賛し自己肯定感を高められる学校
- 一人一人の存在感がある学校
- 教員が、自ら学び高め合う学校
- 学校・保護者・地域が作る特色ある学校

めざす教師像

- 基礎・基本の定着を目指し工夫する教師
- 褒め・認め児童の意欲を高められる教師
- 児童一人ひとりに目配り気配りのできる教師
- 自己研鑽に努める教師
- 家庭や地域と連携し、地域の歴史・文化を児童の心に育む教師

目指す児童像

- 学習の大切さが分かり粘り強く取り組む子
- 自分の良さを知り互いの良さを認め合える子
- 元気にあいさつや返事ができる子
- 人のためになることを考えて行動する子

夢をかなえる力の育成（生きる力・自立の基礎力を養う）

主体的に考え学び合う態度を育て
確かな学力の育成に努めます（知）

- 1 学習の基盤となる学級づくり**
 - 互いに認め合い考えや思いを伝え合える学級づくり（聴く話す）
 - 学習のルールを大切に作る学級づくり
- 2 基礎・基本の定着と確かな学力を身に付ける**
 - ねらいを明確にした授業のための教材研究（ねらいの明確化、構造的な板書、発問、意図的指名、話し合う場の設定）
 - 児童に考えを書かせるための時間と場の確保
 - 児童が理解しやすい環境作り（板書、掲示物、ICTの活用等）
 - 学習意欲を高める、褒め言葉や丸つけ法等の児童を認める取組
 - 評価を生かした分かるできる授業（分かった、楽しかった4段階評価◎、○、△、×）
- 3 個に応じた指導の工夫**
 - 授業における机間指導の工夫とプリント等の活用
- 4 学習習慣の確立**
 - 家庭学習の習慣化（手引きの活用や良い学習の紹介と掲示）
- 5 学校図書館と隙間時間を活用した読書活動の充実**

- ☆全国・県学力調査、C R T（全国平均＋3％、県・市平均＋5％）
- ☆国語・算数単元到達度評価テスト学級平均85％以上
- ◇研修アンケート年2回実施（算数が好きな児童学級85％以上）
- ☆家庭学習取組90％以上、自主学習取組4年生以上90％以上
- ◇読書量1人40冊以上、無読書児童0

思いやりの心を育て
望ましい人間関係の醸成に努めます（徳）

- 1 道徳の時間の充実と学級活動等での能力の開発**
 - 価値を多面的・多角的に考え、議論する道徳の実践
 - ソーシャルスキルトレーニング等を通してコミュニケーション能力の向上
 - ボランティア活動、幼稚園児や高齢者との交流などの体験活動の充実
- 2 生徒指導の充実**
 - 3つの「あ」運動の推進
 - 居心地の良い、やる気に満ちた学級集団の育成
 - ・QUテストの効果的な活用（分析と継続指導）
 - ・積極的な生徒指導の機能を活かした学級づくり
 - 縦割り班や異年齢間の活動や交流を通した好ましい人間関係の醸成
 - 日常的な教育相談等の実施（いじめ・不登校への未然防止）
 - 携帯・スマホの情報モラル等の指導の充実
- 3 家庭との連携**
 - 規範意識（特に情報モラル・SNS等）とルールの確立
 - 積極的な情報の提供とノーメディアチャレンジの推進

- ☆QU検査2回実施（学級満足度60％以上、＋10％）
- ◇学校評価アンケート（各項目85％）
- ☆いじめ調査年5回（いじめの把握と分析と継続指導）
- ☆不登校児（ゼロ）、登校しぶり児への継続対応
- ◇情報モラル教育各学年年1回以上実施

健康や安全を意識して生活できる力を育て
体力の向上に努めます（体）

- 1 体力テストの結果を生かした体力の向上**
 - 授業における「運動身体プログラム」「コーディネーション」の実施
 - 体力テストの結果の分析と授業の改善
 - 運動の習慣化（朝マラソン・縄跳び・ゆるジャンプ等）
 - 休み時間の外遊びの推奨
- 2 健康・安全に関する指導の徹底**
 - むし歯の予防・治療に関する重点的な取り組み
 - 食育、性教育、薬物乱用防止、放射線教育等の充実
 - 危機回避能力を高める指導の充実
 - 日常の安全点検・安全指導の充実と登下校の指導・体制の強化
 - 学校保健委員会の充実
- 3 命の教育、自己肯定感の醸成**
 - 防災教育の深化と各種訓練の充実
 - 命の大切さや自己肯定感を高める働きかけ

- ☆体力テスト（全国・県平均）
- ◇毎回の体育の授業で体力テスト種目を実施
- ☆肥満児2割減（軽度⇒標準、中等度⇒軽、高度⇒中）
- ☆むし歯治療率（85％）◇朝食摂取率（100％）
- ◇命の教育の重点化（保健、道徳、学活、総合等）

開かれた学校づくり

- 授業参観、行事等
- 学校運営協議会
- 学校評価の実施・公表
- 情報の提供（学年だより、各種通信の発行、ホームページ等）

学校・家庭・地域との連携

- PTA、見守り隊、防犯協会、関係機関との連携
- 白河市の歴史・文化教育による郷土愛の育成

幼稚園・中学校との連携

- 白坂幼稚園との連携（交流活動、合同行事等）
- 白河南中学校との連携（授業研究・参観、情報交換等）

行事等の精選と時間の効果的な使い方による教職員の働き方改革（毎週水曜日はノー残業デー6：30の日）を推進する